



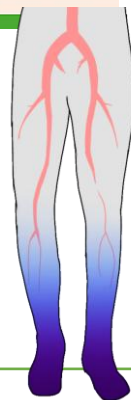
フットな Vol.4

情報 透析患者の足病変特徴

下肢の虚血 足に十分な血液が届かなくなる状態
痛み、しびれ、冷感の症状がでます

POINT

- 歩行が少ないと症状が出にくい
- 下腿（ふくらはぎ）での動脈が狭窄することが多い
- 血管石灰化の程度が重症度やや治療に影響する



末梢動脈疾患（PAD）は、間欠性跛行という、足が痛くなって歩けなくなるけど、少し休むとまた歩けるようになるという症状が出現します。しかしこの症状は、普段の歩行距離が短い場合気づかない場合があり、突然重症下肢虚血（CLI）で発症することが多いです。

予防のために

歩行や血流マッサージなどで足の血流を促すことが重要
血管の定期検査で早期発見が大事

病院での検査の例

指標	測定部位	主な用途
ABI	足関節と上腕	PADのスクリーニング
CABI	中心動脈と上腕	より正確な血流評価
CT	下肢動脈	閉塞部位、度合いの評価

感染防御機能が低下している

透析患者は様々な尿毒症物質が感染しやすいと報告されています

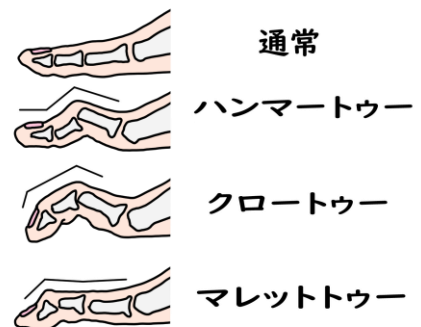
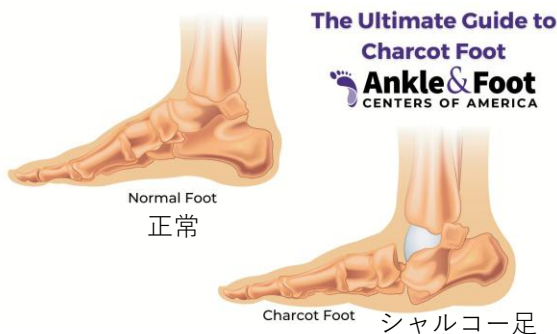


- ❖ 傷が感染しやすく、治りにくい
- ❖ 小さな傷でもすぐに相談

糖尿病性腎症では末梢神経障害を認めることが多い

【末梢神経障害の種類】

自律神経障害	皮膚への血流障害から骨への血流過剰が起こり骨破壊をきたし、シャルコー足の骨変形をもたらす
運動神経障害	骨格筋が麻痺するとハンマートウ変形やクロートウ足の趾骨変形をきたす
知覚神経障害	低温やけどなどの機会が増える。 痛みを感じないため治療開始が遅れやすく 気付いたときには重症化していることもある



引用：Ankle & Foot Centers of America
<https://ankleandfootcenters.com/charcot-foot/>



歩行や運動は大事
足を触って確認
すぐに相談